

各社共通サーモスタット接続用

ツインヒーター SP シリーズ

TWIN HEATER SP500W

KOTOBUKI 取扱説明書

この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

この度は、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書には本製品をご使用いただくための注意事項、使用方法などを記載しております。本製品をご使用になる前に必ずお読みになり、記載内容を十分にご理解ください。

ヒーターを水から取り出す時は電源プラグを抜いて約15分後にヒーター本体が冷めてから！

安全にお使いいただくために

必ずお読みください。

※ヒーターは消耗品です。長期間ご使用を続けられると、電源コードなどは水中で劣化が進み、固くなってひび割れを起したりして危険です。感電や漏電、生体の死亡の原因になりますので、必ず1年(海水使用の場合は約6ヶ月)を目安に交換してください。 ※本製品は観賞魚飼育を目的として作られています。他の目的には、絶対に使用しないでください。

警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

電源プラグ・電源コード・コンセントに関する事項

- 電源はAC100V(一般家庭用電源)をつけてください。また、タコ足配線にならないようにしてください。火災や感電事故の原因になります。 ●電源コンセントは、水槽より高い位置になる様に、電源コードをつたって水滴がプラグやコンセントにかからないようにしてください。感電や発火の原因になります。 ●電源コードや電源プラグが傷んでいたたり、コンセントへの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。感電やショート、発火の原因になります。 ●電源コードを破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、狭み込んだり、重い物を置いたりしないでください。また、出荷時の束ねた状態では使用しないでください。感電や漏電、火災の原因になります。 ●電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか、また、電源プラグやコンセントに汚れやほこりなどが付いていないか定期的に点検してください。放置すると、感電や火災の原因になります。 ●海水水槽に使用される場合は、電源プラグやコンセントの塩分や汚れをこまめに点検し、付着している場合は、必ずよく拭き取ってください。漏電や発火の原因になります。 ●本製品のセット時やお手入れの際などに、水中に手を入れる場合は、必ず水槽で使用している電気製品全ての電源プラグを抜いてから行ってください。感電の原因になります。 ●電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故の原因になります。

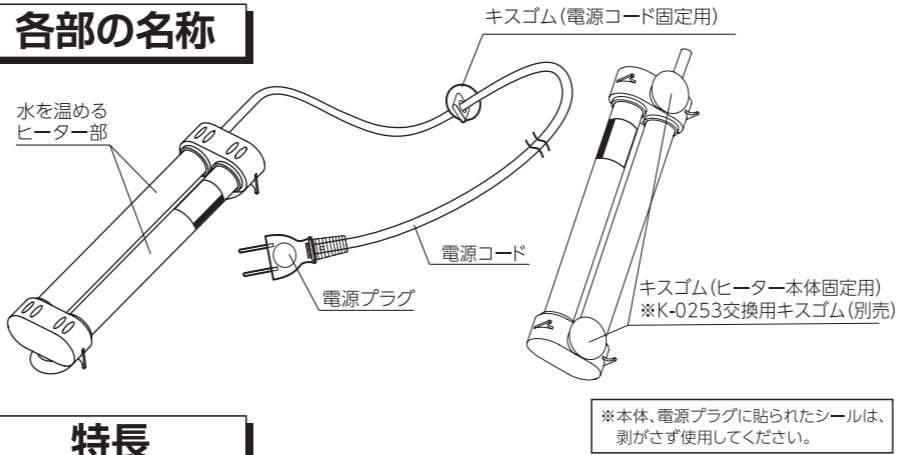
ヒーター本体に関する事項

- 本製品を分解したり、修理、改造は絶対に行しないでください。けがや故障、火災の原因になります。 ●万一機器から煙が出ていたり、異臭がするなどの異常があるときは、ただちにコンセントから電源プラグを抜いて、使用を中止してください。その後、お買い求めになった販売店、または当社までご連絡ください。異常状態での使用は、火災や故障の原因になります。 ●通電中、または通電停止直後のヒーターの側に紙や布、樹脂など燃えやすい物は置かないでください。火災の原因になります。

設置環境/用途に関する事項

- 本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。また、湯気や油煙の当たるところ、ほこりや湿気の多いところでは使用しないでください。感電や発火の原因になります。 ●お子様だけの使用や幼児の手の届く所での使用は避けてください。感電、やけど、火災の原因になります。 ●ヒーターを水槽外に取り出すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分に冷やした後(約15分後)に取り出してください。感電、やけど、火災、故障の原因になります。

各部の名称



特長

ツインヒーターSPは2本のヒーター部から構成されています。発熱部品の劣化等により万が一、片側のヒーター管が通電しなくなっても、残りのヒーター部の稼働により水温の急低下を抑えることができます。(但し、片側の稼働のみで水温維持は難しい為、早期に新しいヒーターと交換していただくこととなります。)

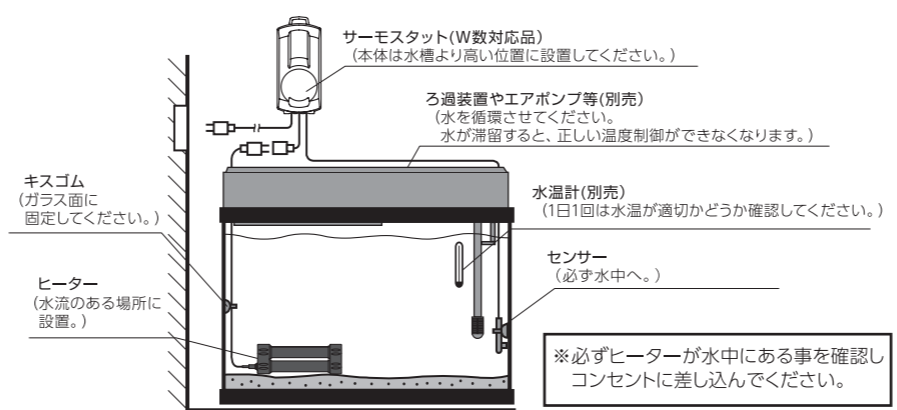
設置方法

以下の手順で、ツインヒーターSPの取り付けを行ってください。

※本製品は横向き、縦向きでの設置が可能です。

注意

本製品は必ずサーモスタット(別売)が必要です。本製品単体での温度制御はできません。



- 本製品を設置される前に破損していないかご確認ください。 ●水槽をセットした後、魚を入れる前に本製品を水槽内に設置します。設置例として上図をご参照ください。 ●ヒーター本体固定用キスゴムでヒーター本体を水槽内側のガラス面に取り付け、電源コード固定用キスゴムで電源コードを固定してください。 ※ヒーター本体固定用キスゴムは図1の様に本体へ差し込んでから90度回して固定してください。 ※サーモスタット(別売)のセンサーが必ず水中に取り付けられていることを確認してください。 ●水槽に水が入っているかを確認し、本製品の電源プラグをサーモスタットのヒーター接続用コンセントに差し込んでください。その後サーモスタットの電源をコンセントに差し込んでください。 ●サーモスタット(別売)の温度設定を好みの水温に調節してください。

《設置の際のご注意》

- ◆縦にセットする場合、水換え時等、水位の低下にご注意ください。水面からヒーター本体が露出すると空だきや火災の原因となります。 ◆ヒーター本体は、使用中に水が減った場合でも、水面に露出しない位置に設置してください。また、必ず付属のキスゴムで固定してください。 ◆水槽用の飾り物や岩などをヒーターの上に落としたり、置いたりしないでください。また、ヒーターをセットする際もぶつけたりしないよう注意してください。ヒーター部の破損の原因になります。 ◆本製品の電源プラグは必ずサーモスタットに接続してください。直接コンセント差し込んで使用すると、温度制御が出来ず、水が高温となり危険です。また火災や発火の原因となります。 ◆電源プラグを差し込むときや、抜くときは、ぬれた手で行わないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故の原因になります。

- 本製品をご使用の際は、必ずろ過装置やエアポンプ等で水槽内の水を循環させてください。 ●強い衝撃が加わったりすると内部が破損し誤作動につながりますので取り扱いにはご注意ください。落としたり、衝撃が加わった後は、ヒーター本体が破損していないか十分に確認してください。また、使用にあたっては、こまめに水温をチェックするか、一週間ほど生体の入っていない水槽で異常がないか確認してください。 ●水温計は、ヒーター本体から離れた位置に取り付け、適正な水温になっているか定期的に確認してください。また、水温計の種類による多少の温度誤差やデジタル水温計の電池切れ、または故障による誤表示にご注意ください。 ●特に春～夏にかけて気温が上昇し、設定温度より外気温が高くなる場合は、ヒーターが作動しなくても外気温につられて水温が高くなりますが、本製品の故障によるものではありません。本製品には、水温を下げる機能はありません。

安全回路について

- 本品は空だき事故防止ヒューズを搭載しております。万一、水中以外で空だきをした場合でも、ヒーター表面温度は※「統一基準規格」を超えることなく、通電を停止します。当機能(安全回路)が働くとその後の再使用は出来ませんのでご注意ください。 ※「統一基準規格」とは・・・ヒーター表面温度(接触表面)：気中での表面温度を400℃以下(400℃=紙の自然発火しない温度)に抑えること等。 ●安全回路が働いてヒーターの作動がストップした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ヒーター本体が十分に冷めたことを確認してから(約15分後)取り出してください。その後、新しいヒーターをお買い求めください。 ●安全回路が働くまでの短い時間であっても、空だきをした場合はヒーター部が痛みますので、再使用はしないでください。

保証について

■本製品には下記の保証規定を設けています。 本保証書は販売店で記入いたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管しておいてください。

SAMPLE

- お買い上げいただいた日から、淡水でご使用の場合は1年間海水または人工海水でご使用の場合は6ヶ月を保証期間とし、この期間内に正常な使用状態において故障、および損傷が発生した場合は、本保証書の記載内容にもとじて無償修理又は交換いたします。なお、製品の傷およびキスゴムやキャップなどゴム部分の劣化(水質などにより劣化が早い場合があります)は保証の対象外になります。ヒーターは消耗品です。1年(海水は約6ヶ月)を目安に新しい物と交換してください。 ●保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。 1.誤った組み立て、取り付けによる故障、および損傷。 2.ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。 3.不当な修理や改造による故障、および損傷。 4.日常の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。 5.家庭以外(船舶や車両などへの搭載)で使用されたことによる故障、および損傷。 6.屋外で使用したことによる故障、および損傷。 7.観賞魚用水槽の水以外で使用したことによる故障、および損傷。 8.異常水質による故障、および損傷。 9.オン発生装置や殺菌灯などの使用によるゴム、樹脂パーツの劣化、および損傷。 10.観賞魚用薬品以外の薬品が入った水槽で使用したことによる故障、および損傷。 11.指定以外の電源(電圧、周波数)による故障、および損傷。 12.火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地変による故障、および損傷。 13.魚類など生体の死亡や病気の発生、および水質の枯れ。 14.本保証書の提示がない場合。 15.本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。 16.本保証書の字句を書き換えた場合。 17.通信販売、ネットオークション等でご購入された購入証明書のない商品。 ●本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。 ●保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。 ●保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。 ●本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN

この保証書は、明示した期間、条件において無償修理を約束するものではありません。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- ※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。 17.通信販売、ネットオークション等でご購入された購入証明書のない商品。

KOTOBUKI 生活ロマンを創造する 株式会社コトブキ工業

お客様相談窓口 ☎0743-66-2777

受付時間:土日祝を除く、月～金曜日 AM9:00～12:00 PM1:00～4:00 http://www.kotobuki-kogei.co.jp/

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。 All Rights Reserved, Copyright©2023 Kotobuki Kogei Co., Ltd. 1310293K① 001090

注意

「傷害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源プラグ・電源コード・コンセントに関する事項

- 本製品の電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。感電、ショート、発火の原因となります。 ●本製品が万一水中で破損した場合は、必ず電源プラグを抜いてから取り出してください。 ●ピラニアなど歯の鋭い魚を飼育される場合は、電源コードをキズつけないよう保護してください。感電、漏電、破損の原因となります。

ヒーター本体に関する事項

- ご使用の際は、水容量に合ったヒーターをお選びください。ヒーターが大きすぎて、ヒーター本体の一部が水中から露出している、または、本取扱説明書の「取り付けかた」で図示しているようにセットが出来ない場合は、使用することはできません。不適当なセットをしたまま使用すると、火災や重大事故の原因となります。 ●本製品(ヒーター)の空気中の空だき、加熱状態での水中投入は、絶対に行しないでください。やけど、火災、破損、故障の原因となります。 ●ヒーターのコードやキャップ、ヒーター本体のキスゴムは水中で劣化が進み、固くなってひび割れを起したりして危険です。1年を目安にヒーター本体の買い替えをおすすめ致します。感電、漏電の原因となります。 ●本製品は水温を下げる機能はありません。外気温がサーモスタット(別売)の設定温度より高い場合は、ヒーターが作動しなくても水温が設定温度より高くなります。 ●安全回路が働くまでの短い時間であっても、空だきをした場合はヒーター部が痛みますので、再使用はしないでください。

設置環境/用途に関する事項

- 本製品は観賞魚水槽以外の容器(ろ過槽、パケツ、衣装ケースなど)で使用しないでください。水槽以外の容器にヒーターを用いると、使用中に容器が転倒した際など、容器の材質によっては変形する恐れがあります。 ●本製品をガラス水槽以外の水槽(プラスチックまたはアクリル製など)を使用するときは、ヒーター部が直接水槽に触れないように配置してください。直接触れた状態で使用すると、水槽が割れたり、割れたりする場合があります。 ●水深の浅い水槽では使用しないでください。水の蒸発や飼育している生体が接触し、ヒーターが空気中に出やすく大変危険です。 ●本製品を縦にセットする場合、水位の低下にご注意ください。水面からヒーター本体が露出すると空だきや火災の原因となります。 ●ヒーター本体は、使用中に水が減った場合でも、水面に露出しない位置で必ず付属のキスゴムで固定してください。破損、発火の原因となります。 ●水槽用の飾り物や岩などをヒーターの上に落としたり、置いたりしないでください。また、ヒーターをセットする際もぶつけたりしないよう注意してください。ヒーター部の破損の原因になります。 ●引火性のもの(シンナー、ガソリン、ベンジンなど)の近くでは使用しないでください。爆発や火災の原因となります。 ●直射日光があたる場所や振動、ほこり等のある場所では使用しないでください。 ●ヒーター本体を砂利に埋めたり、覆うような状態では設置しないでください。正しく作動しない場合があります。 ●ヒーター本体に熱湯をかけたり、濡れたりしないでください。破損の原因となります。 ●オン発生装置や殺菌灯などを使用されるとゴム、樹脂パーツを著しく劣化させ、故障の原因になります。 ●水槽の水は必ずエアポンプや、ろ過器を使用して循環させてください。水が滞留すると、正しい温度制御が出来なくなります。 ●必ず、1日1回は水温が適切かどうか水温計(別売)で確認してください。また、水温計の種類による多少の温度誤差やデジタル水温計の電池切れ、または故障による誤表示にご注意ください。 ●観賞魚の飼育に適さない汚濁した異常水質の水や観賞魚用薬品以外の薬品が入った水槽では使用しないでください。故障の原因になります。魚や水草にも有害です。 ●強アルカリ性、強酸性の水質での使用は全てのパーツが著しく劣化する恐れがあり、故障の原因となります。

お手入れのしかた

■1か月に1度は、本製品のお手入れを行ってください。(下記参照)

- 作業をするときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 ●電源プラグを抜いた直後は、ヒーター部が熱くなっていますので、十分に冷やした後(約15分間)に取り出してください。 ●本製品を使用していると、ヒーター部に水中のカルシウムなどの汚れが付着します。ヒーターの不良ではありませんが、これらは放置すると硬く蓄積し除去しにくくなりますので、こまめにスポンジ等でお手入れを行ってください。(その際硬いブラシ等は強く擦るとヒーター部が破損する事がありますので、使用しないでください。) ●水質によりゴムキャップ、キスゴムに白い付着物が発生しますが、生体のへの影響はありません。取り除く場合はブラシやスポンジ等で定期的にお手入れを行ってください。 ●シンナーや洗剤などの薬品を使用しないでください。万一それらが付着したときは十分に拭き取ってからご使用ください。シンナーや洗剤などは本製品だけでなく、魚や水草にも有害です。 ●夏期は水槽から取り出し、お手入れを行った後に保管されることをお勧めします。特に海水でご使用の場合は付着した塩分を十分に洗浄してください。

仕様

※適合水槽の大きさは周囲温度が15℃以上の環境の場合です。15℃に満たない場合は希望水温にならない場合がありますのでご注意ください。

Table with 2 columns: Specification (ツインヒーターSP, 定格消費電力, 電源, 水容量の目安, 適合水槽) and Value (500W, 500W, AC100V 50/60Hz, 250ℓ以下, 120cm以下)

■QRコードを読み取るだけで簡単登録 下記URLまたはQRコードにアクセスください。

QR codes and links for product registration and information: Kotobuki Kogei HP member registration, Instagram, Facebook, YouTube, X, and dedicated parts website.